

「青春 18 きっぷ」という JR グループの企画乗車券があります。毎年数回、期間や有効期限を限定して発売され、実際に購入して使われた方も多いと思います。私も過去に何度も利用しましたが、コロナ禍の後、左脚の神経痛もあって、全く買っていませんでした。しかしこの春、一念発起して 1 枚購入「してしまいました」!!今回はその「日帰り大旅行」を連載します。単なる「乗り鉄の記録」・・・なのですが、せっかくなので、地形や地質、それに「鉄道考古学」的な考察も加えてまとめてみたいと思います。



「青春 18 きっぷ」は、JR 各社が独自に発売している企画乗車券とはちがい、北海道から九州までの JR 全線に乗車できるのが特徴です。ただしいくつかのルールがあります。主なルールは以下の通りです。

(1) 普通列車 (快速列車も含む) の普通車自由席しか乗れない。ただし、普通列車の指定席券やグリーン券を購入すれば利用できる。

(2) 特急や新幹線を利用する場合は、特急券だけでなく、利用区間の乗車券も購入しなければ乗れない。

(3) 一人で使う場合は、5 日間使える。有効期間 (4 月 10 日まで) なら連続した 5 日でなくても良い。

(4) 複数人数でも利用可能。たとえば 3 人で 1 日 + 2 人で 1 日 = 5 人分と計算する。ただし切符は 1 枚なので、「同一行程の旅行」に限る。

(5) 日付をまたいで運行する列車の場合、その列車が最初に停車する駅まで有効。ただし、東京や大阪の都市圏では、終電まで有効。

(6) JR バスは利用できない。ただし、一部の第三セクターや、特急しか運行していない JR 区間 (たとえば北海道の石勝線) は、条件付きで利用できる。

(7) 「青春 18 きっぷ」とは名乗っているが、利用に年齢制限はない。つまりもうすぐ還暦の私でも「堂々」と利用できる。

要は、1 枚で 1 人 1 日、普通列車に有効な乗車券ということで、「乗れば乗るほどお得!」という切符なのです。私はこうなったら「丸一日、徹底的に列車に乗って、遠くまで行って、日帰りで東京に戻ってこよう!」と計画し、実際に日曜日にそれを実行しました。



旅行のスタートは東京駅です。写真は丸の内北口から入った通路ですが、誰もいません。この時刻に「東京駅に来る手段」がないからです。こんなにガラんとした東京駅は初めて見ました。東海道線の東京駅始発は 5 : 20 の沼津行きなのですが、京浜東北線の 4 : 41 の始発に乗ると、もう一本早い品川始発の小田原行に乗れます。この時刻に東京駅に到着するのは大変なのですが、裏技を使って成功しました。(裏技はメールでお問い合わせください)



4 : 41 の京浜東北線が、東京駅の最初の電車と思っていました。実はこの 2 分前の 4 : 39 に中央線・高尾行があります。終電は 0 : 46 の山手線なので、「終電~初電」まで 3 時間 53 分しかありません。準備・片付けも含めれば、ほぼ 24 時間営業と言えるでしょう。青春 18 きっぷは自動改札を通れません。しかし 4 : 30 にはすでに有人改札も開いていて、きっぷに日付印を押し「お気を付けて行ってらっしゃいませ!」と声をかけてくれました。有難いことです。